

<いかだ遊び>

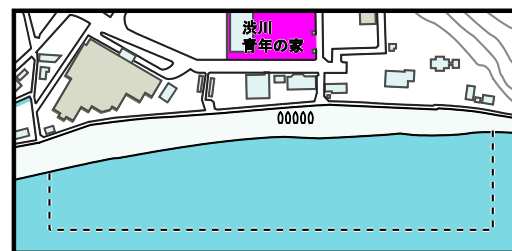
- 1 期間
5月下旬～10月初旬
- 2 場所
渋川海岸
- 3 人数・班編成
80人・いかだ1基につき4人組で編成（最大20組）
- 4 服装
帽子・水着等の活動しやすい服・サンダル
- 5 準備物等

青年の家が準備		()は数量	個人又は団体が準備	
個人	救命胴衣	(1)	引率者	研修のグループ編成
班	いかだ	(1)		台車運搬係の設定
	パドル	(4)		陸上監視係の設定
団体	拡声器・レスキューチューブ	(1)		(濡れてもよい服装で2人以上)

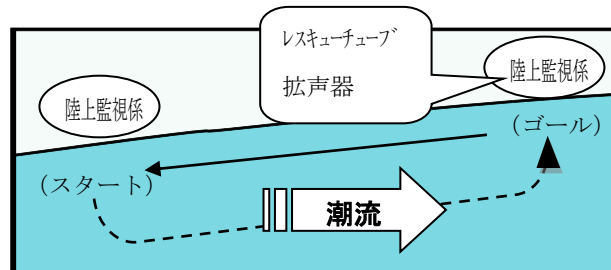
- ◎日焼け防止等でラッシュガード等を着用しての研修も可能です。
- ◎眼鏡をかけている研修生は、落下防止の対策を忘れないようにします。

- 6 留意事項
 - (1) 計画時
 - ア. 次のような場合には研修時間を半分に分け、別の研修を1つ加えて交互で行います。
 - (ア) 80人を大幅に超える団体の場合
 - (イ) 同研修時間に複数の団体が希望し、合計人数が80人を大幅に超える場合
 - ◎合計人数が80人程度であれば研修時間を分けずに合同で研修を行います。
 - イ. 研修実施の可否は、青年の家職員と団体責任者で相談のうえ決定します。
 - ウ. 気象条件等により、研修を中止する場合がありますので、代替の研修を決めておきます。
 - エ. 準備と片付け等に時間がかかるので、研修時間を延長しての研修も可能です。
 - (2) 研修時
 - ア. いかだやパドル等用具の運搬や片付けは団体で行い、数や破損の有無を確認します。
 - イ. **いかだは台車（1台に4基）に積んでおり、台車の運搬は引率者が行います（台車5台）。**
 - ウ. 研修中の安全管理は、青年の家職員（監視艇での海上監視）と引率者（陸上監視や水際での補助等）が協力して行います。
 - エ. 毒のある生物（アカクラゲ、ウミケムシ、ゴンズイ等）に注意します。
 - オ. 潮流や風向に十分注意して研修を行います。
 - カ. **カッター研修が行われている場合は特に潮流に注意し、研修生がカッターに近づかないように注意して監視、声かけを行います。**

7 渋川海岸研修範囲



- 点線の範囲内で研修場所を決めます。
- カッター研修の時間、潮流などの関係で、研修場所は当日に説明します。



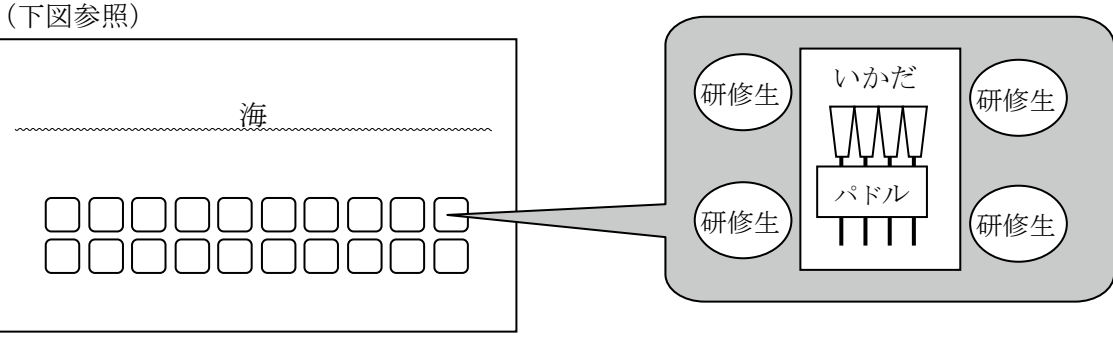
- 研修は、陸上監視係の間で行います。
- 潮流の上にいる陸上監視係はスタートの支援を行います。
- 潮流の下にいる陸上監視係はレスキューチューブと拡声器を持ち、ゴールを指示します。

8 研修の流れ（1泊2日午後退所式での研修例）

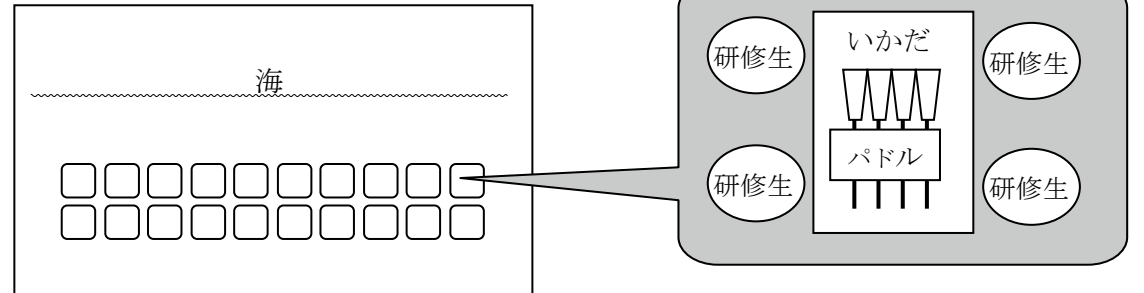
【研修1でいかだ遊びを行い、研修2でカッターを行う場合】

事前準備 (昼食後)	<ul style="list-style-type: none"> ○水着を着用し、タオルや着替えを指定された場所に置く。 ◎体育館下足箱、浴室、シャワー室等を団体の規模、研修団体数によって割り当てる。
準備 (約20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○救命胴衣を着用する。 ○引率者は台車を研修場所付近の遊歩道に移動する。 <ul style="list-style-type: none"> ◎拡声器・レスキューチューブの準備と片付けは青年の家職員が行う。 ○研修生はパドルを持って移動する。 ○引率者は台車からいかだを下ろす。 ○研修生は班ごとにパドルといかだを波打ち際まで運ぶ。波打ち際にいかだを前後に並べ、パドルはいかだの上に置き、いかだの周りに集合する。 <p>(下図参照)</p>
活動	<p>【活動の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○砂浜での説明（10分）→班で活動→（交代）→終了 ○団体内での交代時間等は、引率者の判断で指示を出す。 ○他団体との交代がある場合は、時間を厳守する。
片付け (約20分)	<p>【研修2で他団体が研修する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修生はいかだとパドルを波打ち際に並べる。 ○引率者はレスキューチューブ・拡声器を砂浜に置く。 ○研修生は青年の家に戻り、救命胴衣を水洗いして返却した後、指定された場所で着替える。 <ul style="list-style-type: none"> ◎次の団体の使用数が少ない場合は、使用しないいかだを台車に戻し、使用しないパドルは青年の家を持ち帰り、水洗いして返却する。 <p>【研修2で他団体の研修がない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修生は遊歩道の台車近くまで班ごとにいかだを運ぶ。パドルを持って青年の家に戻り、救命胴衣とパドルを水洗いして返却する。その後、指定された場所で着替える。 ○引率者はいかだを台車に積み、青年の家に戻却する。 <ul style="list-style-type: none"> ◎カッター研修の集合時刻に遅れないようにする。 ◎カッター研修時の救命胴衣は、砂浜にある場合とない場合がある。砂浜にない場合は、青年の家から濡れていない物を新たに着用して砂浜に移動する。 ※) 事前打合せ会で確認する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○研修後、浴室またはシャワー室等で着替えを行うが、希望があればかけ湯も可能。 ○研修の時間は、各団体の研修終了時刻によって変わってくる。

【研修1でカッターを行った後、研修2でいかだ遊びを行う場合】

事前準備 (昼食後)	○カッター研修後の準備時間短縮のため、カッター研修までに水着を着用しておき、タオルや着替えを指定された場所に置く。 ◎体育館下足箱、浴室、シャワー室等を団体の規模、研修団体数によって割り当てる。 ◎カッター研修は水着の上に体操服を着用して行う。
準備 (約20分)	○研修生はカッター研修後、水着に着替え、救命胴衣を着用し、研修場所に移動する。 【研修1で他団体が研修していた場合】 ○いかだ、パドルは砂浜に置いてあるものを使用する。 【研修1で他団体の研修がなかった場合】 ○引率者は台車を研修場所付近の遊歩道に移動する。 ◎拡声器・レスキューチューブの準備と片付けは青年の家職員が行う。 ○研修生はパドルを持って移動する。 ○引率者は台車からいかだを下ろす。 ○研修生は班ごとにパドルといかだを波打ち際に運ぶ。 波打ち際にいかだを前後2列に並べ、パドルはいかだの上に置き、いかだの周りに集合する。 (下図参照)  ◎カッター研修前に台車を移動し、波打ち際にいかだ、パドルを並べておくことも可能 (カッター研修の集合時刻に遅れないようにする。)
活動	【研修の流れ】 ○砂浜での説明(10分)→班で活動→(交代)→終了 ○団体内での交代時間等は、引率者の判断で指示を出す。 ○他団体との交代がある場合は時間を厳守する。
片付け (約20分)	○研修生は遊歩道の台車近くまで班ごとにいかだを運ぶ。パドルを持って青年の家に帰り、救命胴衣とパドルを水洗いして返却する。その後、指定された場所で着替える。 ○引率者はいかだを台車に積み、青年の家に返却する。 ◎次の研修に遅れないようにする。
備考	○研修後、浴室またはシャワー室等で着替えを行うが、希望があればかけ湯も可能。 ○研修の時間は、各団体の研修終了時刻によって変わってくる。

【研修3で地引き網を行った後、研修4でいかだ遊びを行う場合】

朝食後 (起床後)	○地引き網研修後の準備時間短縮のため、地引き網までに水着を着用しておき、タオルや着替えを指定された場所に置く。 ◎体育館下足箱、浴室、シャワー室等を団体の規模、研修団体数によって割り当てる。 ◎地引き網研修は水着の上に体操服を着用して行う。
準備 (約20分)	○研修生は地引き網研修後、水着に着替え、救命胴衣を着用する。 ○引率者は台車を研修場所付近の遊歩道に移動する。 ◎拡声器・レスキューチューブの準備と片付けは青年の家職員が行う。 ○研修生はパドルを持って移動する。 ○引率者は台車からいかだを下ろす。 ○研修生は班ごとにパドルといかだを波打ち際まで運ぶ。 波打ち際にいかだを前後2列に並べ、パドルはいかだの上に置き、いかだの周りに集合する。 (下図参照)  ◎地引き網研修前に台車を移動し、波打ち際にいかだ、パドルを並べておくことも可能 (地引き網研修の集合時刻に遅れないようにする。)。その場合、地引き網研修が始まり青年の家職員が砂浜に来るまでは見張りをを行う。
活動	【研修の流れ】 ○砂浜での説明(10分)→班で活動→(交代)→終了 ○団体内での交代時間等は、引率者の判断で指示を出す。 ○他団体との交代がある場合は時間を厳守する。
片付け (約20分)	○研修生は遊歩道の台車近くまで班ごとにいかだを運ぶ。パドルを持って青年の家に帰り、救命胴衣とパドルを水洗いして返却する。その後、指定された場所で着替える。 ○引率者はいかだを台車に積み、青年の家に返却する。 ◎昼食に遅れないようにする。
備考	○研修後、浴室またはシャワー室等で着替えを行うが、希望があればかけ湯も可能。 ○研修の時間は、各団体の研修終了時刻によって変わってくる。